南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和４年１月号
担当〔山田〕
NO.107

なわとび大会持久跳び

南山小学校恒例のなわとび大会，中でも最後に行われる持久跳びは，子どもたちが特に気合いを入れてチャレンジする種目です。１年生は５分間，２年生・３年生は１０分間，４年生以上は１５分間に挑戦します。

過去４年間の持久跳び達成者の結果です。

学 年	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
１年生	１人	２人	１人	１人
２年生	４人	２人	0	0
３年生	６人	５人	３人	１人
４年生	２人	２人	４人	１人
５年生	５人	３人	２人	５人
６年生	８人	４人	２人	２人
合　計	26 人	18 人	12 人	10 人

毎年多くの達成者が続出する持久跳びですが，上記の表にあるように，無観客で実施された昨年度と今年度の場合は，思うように成績が伸びませんでした。体育の時間には達成していたのに本番ではうまくいかなかったという子どもたちも多かったようです。お父さんやお母さんに観てもらうこと，応援してもらうことが，子どもたちにとってどれだけ大きな力になっていたかということを実感させられます。

今年のなわとび大会の最後のプログラム，4 年生から 6 年生までの持久跳びでみられた光景をぜひ紹介したいと思います。

一斉に跳び始めた持久跳びも 2 分過ぎ，3 分が過ぎていくうちには，どの学年も残っている人が次第に少なくなり，半分の 7 分 30 秒を過ぎた頃は，全体でも 20 人を切っていました。10 分が過ぎました。跳び続けている子は，とうとう 11 人だけになりました。11 分前に 5 年生の男子の 1 人が失敗したとき，どの学年からも自然と大きな拍手が送られました。そこまでの頑張りを讃える拍手です。

12 分が過ぎ，13 分が過ぎました。残りは 10 人。応援の拍手も一段と大きくなっていきました。10 人のまま，この調子で 15 分間跳びを達成するかと思われていた矢先，13 分 30 秒前後に立て続けに，4 年生の女子と 5 年生の男子の 1 人ずつが失敗してしまいました。私は 4 年生の場所でいっしょに応援していたのですが，頑張りを讃える拍手と同時に，思わず落胆の声も聞こえてきました。隣で応援していた子は，「自分のことではないのに，ホントにくやしい･･･」と半分涙声で叫びました。少し離れた場所では涙を流して悔しがっていた女の子もいました。達成直前で失敗してしまった当の本人は，取り乱すこともなく淡々としているのに，自分のことのように悔しがっている応援者の姿がとても印象的に映りました。おそらく 5 年生の応援の場所でも同じような光景がみられたことだと思います。

頑張っている友達を応援する姿，友達の失敗を自分のことのように悔しがる姿，成功を喜び合う姿，毎年のように感動のシーンがみられるなわとび大会の持久跳びです。南山小学校の伝統となっているこのなわとび大会がいつまでも続き，来年度は，お父さんやお母さん，保護者の皆様の声援を受けながら実施できることを願っています。

ゲーム障害

学校には教育委員会などから毎日のようにメール等でお知らせが届きます。調査をして結果を提出するもの，保護者や職員に周知するもの，各種イベントへの参加･募集を募るものなど様々です。

新年になって最初に届いたお知らせは，県警少年課から定期的に出されているサポート通信で，「インターネットに依存していませんか？」というタイトルのお知らせでした。今年最初のお知らせということで，それほど大事なことだと受け止めました。

世界保健機構（WHO）は，令和元年５月に「ゲーム障害」を病気として正式に認定したそうです。「ゲーム障害」とは，下記の４項目がすべてあてはまり，ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になっていると診断される障害のことです。

○ゲームのコントロールができない。
○他の生活上の関心事や日常の活動よりゲームを選ぶほど，ゲームを優先する。
○問題が起きているがゲームを続ける。または，より多くゲームをする。
○個人，家族，社会，教育，職業や他の重要な機能分野において著しい障害を引き起こしている。

もちろん，本校の児童には「ゲーム障害」にあてはまる者はいませんが，その予備群の入口に少しでも近づいているのではないだろうかと心配がある場合，あるいは心配がない場合でも，前もっての対応策は必要です。スマートフォンやインターネット，ゲーム等について各家庭でルール作りを行い，時々は確認し合うなどして徹底することが大事かと思います。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

２年１組　担任　江上 沙和子 先生

２年１組の学級目標は「みっけ！」。学習時間には新しい考えや方法をたくさん「みっけ！」て勉強し，生活の中でも友達や自分自身のがんばり・素敵をいっぱい「みっけ！」しようと，みんなで仲良く取り組んできました。「みっけ！」の習慣が定着してくるにつれて，「やったね。すごいなあ！」と友達のがんばりや成功に自然と拍手がわくような場面が多く見られるようになってきました。

朝登校して教室に入る時，どの子からも「おはよう」と元気な声が聞かれるようになってきたのも成長の一つです。友達の「おはよう」に「おはよう」を返し，教室中がみんなの「おはよう」で元気いっぱいの２年１組の朝です。

「２段とびが１回初めて跳べたよ」「３回だったのが５回も跳べるようになったよ」などと，日々の小さな成長に大喜びをする子どもたち，とってもかわいいです。

これからも一人ひとりの個性を伸ばし，「みっけ！」の気持ちで友達を大事にする子どもたちであって欲しいと，江上先生は応援しています。

♪聖歌「かみさまといつもいっしょ」

かみさまと　いつもいっしょ　わたしたち　みんな
１．朝がきて　夜が　明ける　　太陽のプレゼント
２．小鳥たち　小枝から　　おはようのごあいさつ

ありがとう　かみさま　ありがとう　たくさんの おめぐみを
ありがとう　かみさま　ありがとう　わたしたちのため